

農業高校生を講師とする園児対象の食農体験会の実施

事業実施主体:青森県

- 青森県では、第3次青森県食育推進計画(平成28年度～令和2年度)において、「青森ならではの食の力を生かした「食」と健康を育む環境づくり」を基本方向の一つに掲げ、農林水産業に関する理解を深める取組を推進している。
- その取組の一つとして、令和2年度は保育園の園児等を対象に、2つの農業高校の生徒達を講師として、農作物の栽培から加工・調理までの一連の流れを学ぶ食農体験会を実施した。



【取組の内容】

- 五所川原農林高等学校・みどりの風こども園かなぎ
 - <第1回>毛豆の収穫と試食
 - <第2回>豆腐づくり

毛豆…青森県内で栽培されている在来の枝豆



- 柏木農業高等学校・こども園あらや
 - <第1回>りんご収穫
 - <第2回>アップルパイづくり



【取組の成果】

- 園児には、食農体験会を通じて子どもの頃から農業に親しみ、野菜や果物を好きになってもらうとともに、農業高校生には、講師となることで、食の大切さや食育への理解を深めてもらう機会となっている。
- 農業高校において、食農体験会を自ら企画実行することで、各高校でノウハウが蓄積され、将来的に、農業高校が教育ファームの役割を担うことが期待される。

<参加者延べ人数> 高校生115人、園児83人



できあがった豆腐の試食



焼きたてのアップルパイの試食